【千葉総局】千葉市中央区新田町5-10 わかちく千葉ビル ☎043-203-8171
【東京本社】港区東新橋2-6-6 汐留AZビル6F ☎03-5733-2740
【水戸総局】水戸市南町2-5-24 榎沢本店ビル ☎029-227-4551
【宇都宮総局】宇都宮市本町9-12 亀田ビル3F ☎028-622-8111
【仙台総局】仙台市青葉区上杉1-6-10 仙台北辰ビル ☎022-221-9211
ホームページアドレス：http//www.jcpress.co.jp
メールアドレス：jcp-chiba@jcpress.co.jp

千葉 全県版

©日本建設新聞社（令和元年）（昭和41年11月16日 第3種郵便物認可）
日刊（日、月、祝翌日休刊）

日刊建設新聞
The Nikkan Kensetsu Shimbun

6月6日木曜日
2019年 第13165号

発行所
日本建設新聞社
千葉市中央区新田町5-10
電話043－203－8171
FAX043－203－6658

環境を考え新機種導入
東和道路株式会社
千葉市若葉区高品町230番地1
TEL 043-233-2271 FAX 043-233-1194
E-mail:touwadouro@mtf.biglobe.ne.jp
URL:http://www.touwadouro.co.jp/

建設に向け設計着手
新設小学校 開札は20日
柏市

柏市は5日、柏北部東地区新設小学校（仮称）の建設に向けた設計業務を委託するための制限付き一般競争入札（事後審査・ダイレクト型）を公告した（公告文の概要は7日付に掲載予定）。業務には建築物と外構工事の基本設計・実施設計を一括で盛り込んでいる。14～19日に入札書を受け付け、20日に開札する。施工は設計業務完了後から2カ年で進める見込み。2023年度の開校を目指す。

参加資格については、区分「測量・コンサルタント」のうち大分類「建築関係建設コンサルタント業務」の中分類「建築一般」に登録があることや、国内に本店があること、延べ床面積5000㎡以上の学校施設の基本設計と実施設計（新築・増築に限る）を元請けとして履行した実績があることなどを求めている。

業務概要は▽新設小学校等建築物と外構工事の基本設計・実施設計▽設計に関するワークショップの開催・運営▽工事に向けた各種申請と通知、届出▽工事発注に関する積算・数量調書の作成――など。履行期間は21年3月31日まで。

同小学校は、人口増加の著しい、つくばエクスプレス柏たなか駅西側（船戸1-7）での建設を予定しており、規模などについては正確な学区分けを決定次第に、定めていく見込みだ。

現時点では近隣の2小学校との学区をどのように分けるべきか地元住民らと協議を進めており、19年度内には確定させたい考え。新設小学校と学区を分け合うのは、田中北小学校（4月1日時点での児童数209人）と田中小学校（同801人）となっている。

また、同学区の小学校児童らについては、田中中学校への進学を想定しているという。田中中学校の生徒数は4月10日時点で506人となっているが、同中学校施設は元々余裕のある規模であるため、現段階での中学校新設は計画していない。

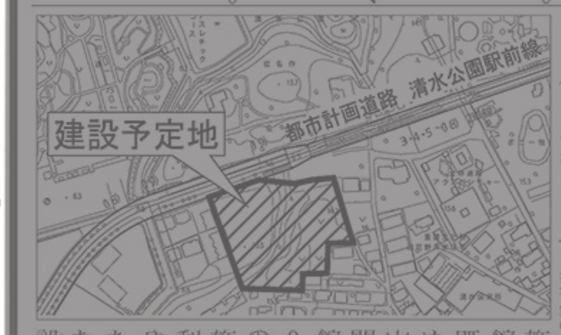
新設小学校の整備に向けて市は、19年度当初予算で約1万5400㎡分の用地取得費24億6928万円を計上。市は2カ年で合計約2万6300㎡を取得する考えで、総額には43億0790万円を見込んでいる。

その建設予定地は、独立行政法人都市再生機構（UR）が施行した、つくばエクスプレス柏たなか駅周辺の「柏北部東地区一体型特定土地区画整理事業」地内にあり、換地処分も完了している。

西山で用地測量
子ども館の新設
野田市

野田市は、子ども館建設用地測量業務を西山測量（野田市）に委託した。制限付一般競争入札により選定しており、落札価格は450万円（税抜き）だった。今回の用地測量業務が順調に進めば、年度内の補正予算で設計業務委託料や工事費を確保する方針。2022年度にも開設したい考えだ。

子ども館建設の対象となる用地は、東武アーバンパークライン清水公園駅の西側（清水公園前）にある約9000㎡の市有地。住所は清水112-1他としている。



業務概要は▽4級基準点測量15点▽現地測量一式▽用地測量（0・9ha）――となっている。

委託期間は9月20日まで。

新施設は、市内では7施設目の子ども館とする計画。既存の中央・うめさと・谷吉・山崎・七光台・関宿の各子ども館は、面積約300～400㎡の規模だが、新施設については、利用者の年齢層や規模を拡大した上で、中心的な役割を担う施設に位置づけたいという。具体的な規模などは、現在策定中の基本構想内で検討している。

同施設は「元気で明るい家庭を築ける野田市」を目指し、18歳までの子どもたちが集い、遊びを通して自主性や社会性、創造性を身に付ける「学び」の場として、また保護者同士が安心して気軽に交流や相談ができる子育て支援の拠点として、さらには子どもたちの体験活動を市民が支える地域交流の拠点として整備する。災害時に妊婦や乳幼児が利用できる防災機能も兼ね備えた施設を想定している。

不二公業の挑戦 ▷▷下
日本と海外の架け橋（ブリッジ）に

入社した（右から）グエン・フー・トゥオンさん、ブイ・ヴァン・シーさん、グエン・スアン・クィンさん

不二公業（船橋市、小原智社長）が最終内定者とした3人は、在留資格取得に向けて日本語の勉強に努力している中、2018年12月の経営計画発表会では、ベトナム・ハノイの現地とskype（スカイプ）でつなぎ、久しぶりに面会。現在の心境や、日本での暮らしで期待していることなど、同社の社員と交流した。

翌19年3月には、内定者3人の両親も交えてハノイで食事会を開催。小原社長ら5人が懇親を深め、子息が日本で必要とされている人材であることや、社会人として大切に育てていくことを約束し、現地で交流を深めたという。

入社後は、3人に大学で学習してきた専門知識を生かし施工管理技術者として業務に携わってもらう予定だといい、同社での研修を通してビジネスマナーや業務に必要となる知識や技術を身に付けた上で、先輩社員の指導の下、CADを使って平面図や断面図など設計・工事の工程表などを作成し、将来的に施工管理として業務を遂行する上で必要となる基礎を身に付けてもらう方針だ。

また、日本語能力試験のN2・N1合格を目標に勉強を継続し、日本語力の向上に努め、施工管理者としての業務上必要な知識や技術も身に付け、2級施工管理技士の資格取得も目指す。

これらに伴い同社は、入社後も日本語や専門の勉強と仕事とが両立できる環境を整え、全社で技能習得や学習を支援していく予定だという。

3人は入社3年目以降、品質管理（品質データ・数値の確認、試験業務など）や予算管理・安全管理を主に行っていき、4年目以降は、現場の主任技術者としてガス・上下水道・舗装をはじめさまざまな耐震工事や更新工事の施工、各施設の維持管理業務の経験を積んでもらいながら、1級施工管理技士の取得を目指し、資格取得後には施工管理者として全体の業務を行ってもらう計画を立てている。

同社は3人の日本での日常生活を支え、就業だけではなく日本での生活環境に円滑に順応してもらえる環境を整備し、定期的に先輩社員が面談、日本での生活や業務における悩みや不安がないか確認し、あれば解消していく。

小原社長は、建設業の人手不足による「技能実習生」の受け入れが急増する一方でトラブルも多発している中、その課題解決として高度外国人材を先行採用し、自社内の外国人受け入れ体制を整備した上で「外国人実習生」を受け入れる予定だとし、今回の人材を両国間の人と人をつなぐ"ブリッジ人材"と定義して、次世代の担い手の活躍を期待していると熱く語っていた。

ベトナムの「技術者」が抱負

入社前には現地で家族と食事（写真提供：不二公業）

ベトナムとはスカイプで会話（写真提供：不二公業）

入社した3人の「夢」

この度入社したブイ・ヴァン・シーさん(25)は、まだたどたどしい日本語ながら、日本については建設技術が発達している印象があったと話し、できる仕事から始めて技術を覚えながら家族を含めて生活を安定させ、できるだけ長く住んで経験を積んでいきたいとの抱負を語った。

また、グエン・フー・トゥオンさん(24)は、日本人に対し「真面目」だというイメージがあり、まずは日本語と働き方を学んで5年後には資格を取得。都市ガスの配管技術を（都市ガスのない）ベトナムに持ち帰りたいとするとともに、結婚して40歳ころには日本で会社を作りたいと希望を膨らませた。趣味はサッカー観戦と「泳ぐこと」だという。

今回の紅一点で、最年少ながら一番のしっかり者、グエン・スアン・クィンさん(23)は、韓流ドラマが好きで、一時は韓国語を勉強していたというが、今は日本の作品、特にアニメがお気に入りで、最近は動画サイト「YouTube」で女性が「爆食い」する動画にハマっているという「ごく普通の20代女子」。一方で5～7年後までには必要な資格を取り、ホームページで調べたという同社の役に立ちたいと、はっきりした目標を掲げるなどしていた。

会員に資する事業を
定時総会 来賓迎え懇親会も
県産業資源循環協会

杉田会長

県産業資源循環協会（杉田昭義会長）は5月30日、千葉市内で第7回となる2019年度の定時総会を開いた。議事では3つの議案と、19年度の事業計画など3つの報告事項を承認。議事後には優良事業所などの表彰式や、多くの来賓を招いての、県産業廃棄物処理業協同組合（小出英昭理事長）との合同懇親パーティーも開かれるなどした。

あいさつで杉田会長は、昨年に県産業廃棄物協会から改称を果たしたことに「未だとまどっている」と笑わせながら、併せて処理業者だけでなく排出側の事業者が会員に加われるように定款を変更したことに言及。両方の意見を聞きより良い協会とするため「身の回りの事業者にも協会への加入を呼び掛けてほしい」とするとともに、今後も研修会など会員のためになる事業を活発に進めていきたいとする一方、労働災害の発生が多いことにも触れ、これらの解消に向けた取り組みの徹底も求めた。

来賓からは県環境生活部の冨塚昌子部長も祝辞。県が施行の始まった再生土の埋め立ての適正化のほか、災害廃棄物の処理などに力を入れていることに理解を求めながら、同協会とは災害協定を締結しているものの、平時からこれらに備えるため、今後も協議していきたいと抱負を述べ「同協会の協力なくしては成し得ないこと」だと一層の協力を求めた。

また、千葉市の環境局産業廃棄物指導課の川瀬義信課長もあいさつ。産業廃棄物関連の要綱や通達は毎年のように変わっているものの、滞りなく対応してもらっていると感謝の言葉を述べながら、来年にオリンピック・パラリンピックの開催が市内でも控え、廃棄物の排出量が増加することが見込まれる中、県や他の市とも協力しながら対応していく旨を示した。

会はこの後、小出理事長の発声による乾杯で歓談へと移った。

小出理事長

冨塚部長

両団体の発展を祈って乾杯

産廃処理組合も全議案承認

同総会に先立って開かれた県産業廃棄物処理業協同組合の通常総会でも5議案が原案通り可決した。小出理事長はあいさつで、廃プラスチックが禁輸となり、有害廃棄物の輸出入について定めるバーゼル法などの現況にも触れながら、組合の事業でも無事に組合員らに配当ができたことを報告。今後も継続していきたいとした（協会の定時総会内で表彰された受賞者については後日掲載）。

手押式の草刈機の使い方を指導

草刈機講習に講師
千葉市造園組合

千葉市造園緑化協同組合（吉田等理事長）は4日、千葉市建設局土木部が実施した、草刈払機の講習会に講師9人を派遣した。若手を中心とする同部の職員らに対し、刈払機を使用する際の注意点やコツなどを、午後の時間いっぱいをかけてレクチャーに当たった。

この講習会は市建設局が主催するもので、同組合は前年度から依頼を受けて、技術委員会から講師を派遣。当日は同局から部署や事務所を超えて職員22人が参加。実際に刈払機を使用した経験がない職員もいたという。

講習の会場となったのは、緑区下大和田町地内の調整池周辺。土木部出先の土木事務所や本庁などから集まった職員らに対し、鈴木康史委員長をはじめとする同組合の技術委員らが、刈払機を使う際の注意点などを解説した。

その後、4つの班に分けられた参加者らは、作業場所についても移動。手押し式の大型草刈機（ハンマーナイフ）については、エンジンの掛け方などイロハから指導。一人が実際に池沿いの道に伸びる雑草を刈ってみるなどした。このほか、ガードレールの内側など細かい場所についても、肩掛け式の草刈機を使ったレクチャーも行うなどした。

同組合ではこれまでにも市からの相談を受け、同様の講習会を開いているという。昨年に続く今回の刈払機のほか、チェーンソーの使い方についての講義も開くなどしている。

鈴木委員長

技術委員が職員を指導

オオバで実施設計
木地区の街区公園
流山市

流山市は、木地区2・4号街区公園実施設計業務の委託事業者をオオバ（東京都千代田区）に決定した。予定価格930万円（税抜き）に対して落札価格は555万円（同）だった。設計業務の成果を基に、2号街区公園は年度内、4号街区公園は2020年度以降の着工を目指す。

今回、実施設計作成を委託する2つの街区公園は、21年度に事業完了を予定する同地区の土地区画整理事業で計画している5つの街区公園の中で最後に着手するもの。2号街区公園の整備予定地は、ある程度造成が完了していることから、年度内での着工と整備完了までを見据えている。

一方、4号街区公園の整備予定地は現時点で仮設住宅があることから、住民らの転居が済み次第に20年度以降整備に着手し、21年度までの完了を目指す。

各園の規模は、2号街区公園が面積2547㎡、4号街区公園が面積2428㎡を想定。基本設計は作成していないため、今回の業務内で基本方針やゾーニングなどの詳細も定めていく方針。既に完成している他の1・3・5街区公園の3施設には、遊具や園路、広場、ベンチなどが配置されている状況だという。

業務内容は▽現況把握▽敷地分析▽計画内容の検討・設定（基本方針やゾーニング、導入施設、需要圏域・利用者層・利用者数、アクセス・動線、環境の保全・創出、空間構成など）▽与条件の確認・調査▽実施設計の検討▽実施設計図の作成▽数量計算▽概算工事費算出▽地元関係者との協議など▽実施設計説明書の作成――とした。履行期間は9月30日まで。

PR効果に自信アリ！ おかげさまで 創業55年
記憶に残るのは…
この名刺…誰だっけ？
モリシタの「デザイン名刺」です！
東京・千葉・神奈川・埼玉・栃木・茨城・群馬・山梨・宮城からの受注実績！ 全国発送も可！
☆当社がNHK「日本人のおなまえっ！（第一回）」で紹介されました！
印刷・印章・ゴム印・カレンダーの通信販売 〒264-0029 千葉市若葉区桜木北2-26-52
有限会社モリシタ TEL 043(231)4748㈹ FAX 043(233)3484
E-mail:info@morisita.co.jp http//www.morisita.co.jp/

sto StoCretec
ポリマーセメント乾式吹付工法
鉄筋裏側まではつる。
鉄筋防錆材塗布
吹付けモルタル
表面仕上げモルタル
表面保護コーティング
NETIS登録 千葉県新技術登録
主な特徴
● 長距離圧送可能。（水平200m垂直150m）
● 振動下の天井面でも厚付け可能。（最大100㎜）
● 鉄筋背面への充填性に優れる。（時速200㎞での吹付け）
● 高い付着力・高密度形成。（母材に強固に付着・変位追従）
日本コンクリート補修・補強協会会員
株式会社 岡部建設
代表取締役社長 小宮山 房信
誠実・実行・感謝！
本社 〒294-0052 館山市亀ヶ原890番地の1
TEL0470-36-2266 FAX0470-36-2268
e-mail:info@okabe-c.co.jp